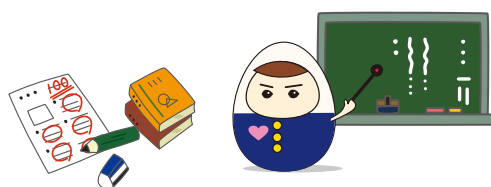


Category of Qualification and Job 医療系・福祉系の資格とお仕事

目指せる国家資格と仕事内容を知ろう

医療・看護・福祉系の仕事は、専門知識が必要とされます。
将来、この分野で活躍していくためには、
国家資格などの資格や免許が必要となります。
まずは、自分になりたい職業、
取得したい資格などの目標を決めて、
自分にあった学校を選びましょう!



薬剤師

近年、薬剤師の活躍する場は広がっており、働く場所によって仕事の内容は異なっています。薬局・薬店では、医師の処方せんに基づき、調剤を行い、それを提供、服薬指導なども行います。一般用医薬品についてのアドバイスや販売も薬剤師の仕事です。病院では、入院患者に対する服薬指導や治験薬の管理なども行います。また、医薬品会社での研究開発や、行政機関で薬の承認審査や安全対策を行うことも薬剤師の仕事です。国がかかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師を推進する中、地域における薬剤師の果たす役割は今後ますます高まるでしょう。

● 資格取得のために
大学の薬学部で実務実習を含め、6年間学び、国家試験に合格すると薬剤師の資格が得られます。



看護師

医師の指示に基づき、病気やケガをしている人の診療を補助し、患者の回復とその家族をサポートすることが看護師の主な仕事です。病院やクリニックで働くことが多いですが、最近は家庭で療養している人も増えているため、訪問看護ステーションや、福祉施設で利用者の療養をサポートしたり、健康をケアすることも重要な仕事となっています。高齢者が増える中で、看護師はますます必要とされています。また、チーム医療が進む中、高度な医療に対応できるよう、認定看護師や専門看護師などのエキスパートも増えてきています。

● 資格取得のために
大学・短大の看護課程か、厚生労働省・文部科学省の指定する看護師養成施設を卒業し、国家試験に合格すると看護師の資格が得られます。



保健師

保健師の仕事は、健康な生活を送るための保健指導と、その管理をすることです。保健所や市町村の保健センターが主な職場となりますが、赤ちゃんからお年寄りまで、様々な世代に対しての健康増進や病気の予防に関して、あらゆる相談に乗ります。他にも企業の健康管理室で、病気の予防や心の相談などにあったり、福祉施設で適切な療養生活について、本人や家族に指導したりすることも保健師の仕事です。

● 資格取得のために
大学か統合カリキュラム校で4年学ぶか、看護師資格を取得後、保健師養成校で定められたカリキュラムを取得すると国家試験受験資格が得られます。これに合格すると保健師の資格が取得できます。



助産師

助産師の仕事は、お産の時だけではなく、分娩の介助はもちろんのことですが、安心して出産にのぞめるよう相談に乗ったり、母親学級などを開催したりします。はじめての出産で不安になっているお母さんをサポートし、産後のケアや育児相談も行うなど、妊産婦と赤ちゃんの保健指導も行います。また、その活動の場は、思春期の性に関する相談や家族計画にまで及び、女性の一生をサポートする仕事と言えます。

● 資格取得のために
大学か統合カリキュラム校で4年学ぶか、看護師資格を取得後、助産師養成校で定められたカリキュラムを取得すると国家試験受験資格が得られます。これに合格すると助産師の資格が取得できます。



臨床検査技師

血液や尿から細菌やウイルスを検出したり、手術などで取り出した臓器を調べたりする検体検査と、心電図や脳波、超音波などの検査で診断に必要な身体のパターンを採る生理学的検査を行うのが臨床検査技師の仕事です。かつては医師が行っていた臨床検査ですが、医療技術が高度化し、検査機器も発達したため、それを使いこなすスペシャリストが求められています。生活習慣病が増加する中、人間ドックなどで大きな役割を果たすため、活躍の分野はますます広がるでしょう。

資格取得のために

大学・短大の医・歯・獣医学、薬学、衛生関連学部、または厚生労働省・文部科学省の指定する臨床検査技師養成施設を卒業し、国家試験に合格すると臨床検査技師の資格が得られます。



診療放射線技師

医師や歯科医師の指示に基づき、放射線検査・治療をする技術者です。エックス線、CT、MRI、超音波などの画像検査や放射線治療は、病気の診断や治療において重要な位置を占めるようになってきました。コンピュータを駆使するなど、最新の科学技術が取り入れられる医療の最先端分野だけに、常に技術・知識を高めていく意識が必要です。大規模病院での勤務が中心になりますが、医療機器メーカーでの研究開発なども活躍できるフィールドです。

資格取得のために

大学・短大の診療放射線学科、もしくは厚生労働省の指定する診療放射線技師養成施設を卒業後、国家試験に合格すると診療放射線技師の資格が得られます。



理学療法士

病気や事故などで、身体に障害がある人の失われた機能を、運動や電気刺激、マッサージなどで回復させ、患者の社会復帰を促すリハビリテーションの専門家が理学療法士です。医師の指示のもと、医療スタッフと話し合いながら治療計画を立て、その人にあった治療を、患者の心の支えとなりながら行うことが必要とされます。主に病院や社会福祉施設、通所・訪問リハビリテーションなどで活躍していますが、中には専門性を生かして、スポーツチームに属している人もいます。

資格取得のために

厚生労働省・文部科学省の指定する大学・短大、養成施設で学んだ後、国家試験に合格すると理学療法士の資格が得られます。



作業療法士

理学療法士が、運動やマッサージなどを通して身体機能を回復させていくのに対し、作業療法士は、日常作業で行う作業活動を用いて、訓練を行い、身体機能や精神機能を回復させていくサポートを行います。患者は身体障害がある人だったり、精神障害がある人だったり、症状は様々です。その人の趣味などを考慮し、手芸や工作、楽器などを利用し、その人に最も合った治療や訓練を粘り強く実施していく、人間性が評価される仕事です。

資格取得のために

厚生労働省・文部科学省の指定する大学・短大、養成施設で学んだ後、国家試験に合格すると作業療法士の資格が得られます。



言語聴覚士

言葉は人間にとって大切なコミュニケーション手段のひとつです。この言葉と聴こえに障害のある人が、少しでも自分らしい生活を送れるよう、その機能を獲得、または回復させるサポートをするのが言語聴覚士の仕事です。難聴や、言語発達の遅れ、失語症、嚥下障害など、その障害の種類は様々で、まずその状態を検査によって明らかにし、必要に応じて、訓練・指導・援助を行います。今後は医療機関のみならず、福祉分野、教育分野でも活躍の場が広がっていくでしょう。

資格取得のために

厚生労働省・文部科学省の指定する大学・短大、養成施設で学んだ後、国家試験に合格すると言語聴覚士の資格が得られます。



臨床工学技士

臨床工学技士は、人工透析装置や、人工心肺装置、また人工呼吸器などの生命維持管理装置を医師の指示のもとに操作し、また保守・点検までを行う医学的・工学的な知識を合わせ持つスペシャリストです。心臓手術の際に、心臓を止めて人工心肺装置を動かすには熟練した技術と、医師や看護師、その他の医療スタッフとの連携が必要です。活躍の場は、病院のみにとどまらず、医療機器メーカーでの開発など需要は高く、ますます必要とされていくでしょう。

資格取得のために

厚生労働省・文部科学省の指定する大学・短大、養成施設で学んだ後、もしくは他の医療系の学校を卒業し1年～2年の養成施設を卒業後、国家試験に合格すると臨床工学技士の資格が得られます。

Category of Qualification and Job 医療系・福祉系の資格とお仕事



歯科衛生士

歯科医師の指示のもと、チーム医療の一員として、歯石を除去するなどの虫歯や歯周病の予防処置を行ったり、歯科診療の補助、また歯磨きの方法を指導するなど、保健指導も歯科衛生士の仕事です。歯科衛生士は女性の割合が高いため、結婚・出産などで離職することも多く、慢性的に不足しがちです。そのため、需要は今後も高まると考えられます。患者さんと常に向き合う仕事のため、コミュニケーション能力も求められるでしょう。

資格取得のために

文部科学省の指定する大学・短大、もしくは厚生労働省の指定する養成施設を卒業後、国家試験に合格すると歯科衛生士の資格が得られます。



歯科技工士

歯科医師の指示のもと、補綴物(義歯や歯冠など)を作り、修理し、加工するのが歯科技工士です。金属やプラスチック、セラミックなどを加工し、患者一人ひとりにあった入れ歯や差し歯を作るためには、工学的知識と高い技術が必要とされ、歯科技工士は、歯科医療を補佐する専門的技術者といえます。食べること、すなわち歯の健康は重要な問題です。高齢社会を迎え、人々の生活の質を支える歯科医療の需要は高まっています。

資格取得のために

文部科学省・厚生労働省の指定する大学・短大、もしくは養成施設を卒業後、国家試験に合格すると歯科技工士の資格が得られます。または、歯科医師国家試験、歯科医師国家試験予備試験の受験資格を得た後、歯科技工士国家試験に合格すると資格が得られます。



救急救命士

病院への救急搬送時に医師の指示のもと、救命処置を行うのが救急救命士です。交通事故や脳卒中、心筋梗塞などの循環器系疾患の患者が急増している中、生命の危機を回避する重要な役割を果たします。従来、救急隊員は、人工呼吸や心臓マッサージなどの簡単な処置しかできませんでしたが、救命率を上げるため医師の指示を受けて、気道の確保や、電気的刺激による心拍の回復、輸液処置など、高度で専門的な処置も行います。

資格取得のために

文部科学省・厚生労働省の指定する大学、養成施設などで学んだ後、国家試験に合格すると救急救命士の資格が得られます。ほかに消防機関等の実務経験がある人で、講習受講者は、国家試験の受験資格が得られます。



柔道整復師

「接骨」や「ほねつぎ」と呼ばれる柔道整復師は、捻挫や骨折、打撲などの治療を行います。その治療は、柔術が根源であり、修行や鍛錬の場で起きるケガを治療する技術です。病院での治療との違いは、外科手術や薬を使わず、手技により固定させるなどし、早期の回復を図ります。従来より地域で親しまれていますが、近年ではスポーツ選手からも注目されスポーツトレーナーとなったり、整形外科の新たな分野としても活躍の場が開かれるなど、仕事の幅は広がっています。

資格取得のために

文部科学省・厚生労働省の指定する大学・短大、もしくは養成施設を卒業後、国家試験に合格すると柔道整復師の資格が得られます。



はり師・きゅう師

東洋医学の考え方に基づいて、はりやきゅうを使った治療を行うのがはり師・きゅう師です。はり師は金属のはりで人体のツボに刺激を与えたり、きゅう師はもぐさで温めたりすることにより、身体の機能回復を図り、健康を保持・促進させて整えます。はり師ときゅう師は、別の国家資格ですが、同時に受験できることもあり両方をあわせ持つ人が多いようです。資格取得後は、鍼灸治療院などでの勤務のあと、独立開業をめざす人も多いのが特徴です。

資格取得のために

文部科学省・厚生労働省が指定する大学・短大、もしくは養成施設を卒業後、国家試験に合格するとはり師・きゅう師の資格が得られます。



社会福祉士

社会福祉士の仕事は、高齢者や障害者など、福祉サービスを必要とする人の、福祉に関する相談に乗りながら、社会的に自立できるように助言や援助を行います。その人に必要な制度や情報を紹介し、時には、必要な福祉サービスを作ったりすることもあります。主な活躍の場所は、社会福祉施設や行政機関、保健所や医療機関などですが、最近では、民間の介護サービスなどの企業でも、福祉サービスの向上を目的に需要は高まっており、活躍の場は広がっています。

資格取得のために

福祉系大学を卒業し、国家試験に合格すると社会福祉士の資格が得られます。福祉系の短大・専門学校等の場合は、卒業後1~2年の実務経験を積むと、国家試験の受験資格が得られます。(※その他、一般大学の卒業生・実務経験者にも国家試験受験資格を得られるルートあり。)



介護福祉士

社会福祉士の仕事が、福祉サービスを必要とする人の相談や助言、援助といった仕事であるのに対し、介護福祉士は、高齢者や障害者など、介護を必要とする人の入浴や食事、排泄など、またその人の心身の状況に応じて介護を行うなど、直接支援をする仕事です。また、介護を行う家族に対しての指導なども大きな役割です。高齢社会が進み、介護を必要とする人が増える中、質の高い介護のために、必要とされる資格です。また介護福祉士の上位資格として「認定介護福祉士」も創設され、キャリアアップの道も開かれています。

● 資格取得のために

文部科学省・厚生労働省が指定する大学・短大、もしくは養成施設を卒業し、国家試験に合格すると介護福祉士の資格が得られます。また、実務者研修を修了し、国家試験を受験し合格すると資格取得できるルートもあります。（※平成29～令和8年度までの養成施設卒業業者には5年間の経過措置があります。）



精神保健福祉士

社会の複雑化にともなって大きなストレスを抱える人が増える中、心の問題もクローズアップされるようになってきました。精神保健福祉士は、心の病が引き起こす精神障害を抱えた人の相談に応じ、助言指導し、社会に復帰するために、日常生活への対応に必要な訓練を行う専門家です。活躍する職場も多岐にわたっており、精神科病院や、精神科の診療所、保健所や障害者支援施設など様々です。今後も、医療・保健・福祉にまたがる領域で活躍することが望まれています。

● 資格取得のために

精神保健福祉士の取得には、国家試験に合格しなければなりません。保健福祉系大学を卒業すると、受験資格を得られますが、その他の短大などでは、実務経験を積み、養成施設で学ぶ必要があります。



保育士

保育士は専門的知識と技術をもって、未就学児（0～6歳までの乳幼児）の保育をする、いわば子育ての専門家。子どもだけでなく、その保護者に対して保育の指導をすることもその役割のひとつです。保育士が働く場は保育所などの児童福祉施設だけでなく、企業内保育所やデパートなどの一時預かり所、ベビーシッターサービスなど民間企業でも増えています。また、かつては女性の多いイメージが強い職種でしたが、最近では男性の保育士も増え、保育の現場はますます活気づいています。

● 資格取得のために

厚生労働大臣の指定する大学・短大、養成施設で学び、所定の単位を取得し卒業すると保育士資格が得られます。また、指定する養成施設を卒業してなくても、保育士の国家試験に合格すると資格が得られる道もあります。



管理栄養士

栄養士の上級資格として、高度かつ複雑な栄養指導・栄養管理にあたる管理栄養士の活躍の場は多岐にわたっています。病院では患者の症状に応じた栄養指導の他、医師・看護師・薬剤師などが連携して栄養サポートを行う際は中心的役割も担います。高齢者向け施設では利用者の介護度に合わせた食事を提供し、保育園では子どもたちの食への関心を育むことも仕事のひとつです。生活習慣病や食物アレルギー、老人介護の増加が問題視されている現代社会において、ますます求められている人材といえます。

● 資格取得のために

厚生労働省が指定した大学で必要単位を取得し、国家試験に合格すると管理栄養士の資格が得られます。栄養士の養成施設（大学・短大・専門学校）で学んだ人も卒業後に栄養士として働き、国家試験に合格すれば「管理栄養士」になることができます（受験に必要な働く年数は養成施設での修業年数により異なる）。

その他の医療・福祉系の職業

病棟・外来クラークや歯科助手、ケアマネジャー、福祉住環境コーディネーターなど、医療・福祉の職場を支える職業は多数あります。私たちの生活に必要で欠かすことのできない、医療や福祉に関わる職業。自分の適性を考え、めざす職業と資格をしっかりと知ったうえで、進路を決めることが大切です。

最近では、病院やクリニック、訪問介護事業所、支援センターなどが連携し、地域で1人の患者さんを支える動きが広がっています。希望する職種以外も知っておきましょう。

